学校番号	２１０

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ(3 年)	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「高等学校標準古典Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	『シンプルスタイルシリーズ古文単語 301』（尚文出版） 『古典文法クリアノート』(尚文出版) 「ビジュアルカラー国語便覧　改訂版」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ

・古典を通して日本伝統の感じ方・考え方、言葉の原義・歴史的変遷、日本文化の特質を身に付け、日本のアイデンティティをしっかり持つことがグローバル社会の中で生きるうえで必要です。
・「温故知新」という言葉の通り、昔の事をたずね求めて、これからの厳しい社会で必要な新しい知識や、独自の考えなどを持てる人間になってください。
・言われることだけを淡々とする受け身の勉強ではなく、自ら興味を持ち、考え、工夫し、様々な方法を試すような積極的な勉強にしてください。能動的な学習こそ自らを成長させる糧となります。
・授業外の課題が多いです。意欲を持って、しっかりと学習してください。
・予習を必ずしてください。古典文法・漢文の構文を理解するため反復練習をする、古文特有の読み方を練習する、古語の意味を調べる、本文を読む、現代語訳を作ってみる、練習問題を解く。
・復習を必ずしてください。ノートを見ながら本文を読み直す、現代語訳をもう一度作る、練習問題を繰り返し解く、小試験や定期考査で間違えた問題を分析する。
・分からない所があれば、授業後や休み時間を使って質問をしてください。

2　学習の到達目標

・古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに，古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり，その価値を考察したりして，自分の考えを深め，発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め，知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の確認 ・プリント ・授業内発表 ・授業外試験			記述の確認及び分析 ・ノート ・プリント ・定期考査	行動の観察 記述の確認 ・ノート ・プリント ・小試験 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
通年	古文単語	古文単語の暗記 301 個					◎	e:古文単語の小試験や定期考査で6割以上の点数が取れている。	e:小試験及び、定期考査
	古典文法	助動詞の理解	○				◎	a:助動詞の接続と意味、活用の種類を暗唱できる。 e:(1)助動詞の基本形を全て覚えている。 (2)各助動詞の基本的な意味を理解し、覚えている。 (3)各助動詞の接続を理解し、覚えている。 (4)助動詞の活用の仕方を理解し、覚えている。 (5)文中の助動詞に関して文法的な説明ができる。	a:行動の観察(小試験) e:行動の観察、記述の確認(古典文法クリアノート)、定期考査
1学期	物語	『大和物語』姨捨 助動詞の文法	○			◎	○	a: 登場人物の言動と心情を表現に即して読み、和歌に表現された思いを読み取ろうとしている。 d: 登場人物の言動と心情を表現に即して読み、和歌に表現された思いを読み取れている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	随筆	『方丈記』ゆく川の流れ・安元の大火	○			◎	○	a: 描かれている人物、情景、心情を表現に即して読み、作者の思想を読み取ろうとしている。 d: 描かれている人物、情景、心情を表現に即して読み、作者の思想を読み取れている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	物語	『大鏡』弓争い 助動詞の文法	○			◎	○	a:登場人物の関係・人物像について理解し、語り手がどのような評価をしているか、読み取ろうとしている。 d: 登場人物の関係・人物像について理解し、語り手がどのような評価をしているか、読み取ろれている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
2学期	物語	『源氏物語』明石の君と姫君 敬語	○			◎	○	a:主人公を中心に女性たちとの関わりを通じて登場人物について理解し、当時の宮廷生活について読み取ろうとする。 d: 主人公を中心に女性たちとの関わりを通じて登場人物について理解し、当時の宮廷生活について読み取れる。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	日記	『和泉式部日記』夢よりもはかなき世の中 助動詞の文法	○			◎	○	a: 描かれている人物、情景、心情を表現に即して読み、和歌に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。 d: 描かれている人物、情景、心情を表現に即して読み、和歌に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。 e: 古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
3学期	三国志の世界	『十八史略』水魚之交・赤壁之戦 句法	○			◎	○	a: 描かれている人物、情景、心情、その時代の風潮、背景について、表現に即して読み取ろうとしている。 d: 描かれている人物、情景、心情、その時代の風潮、背景について、表現に即して読み取れる。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。